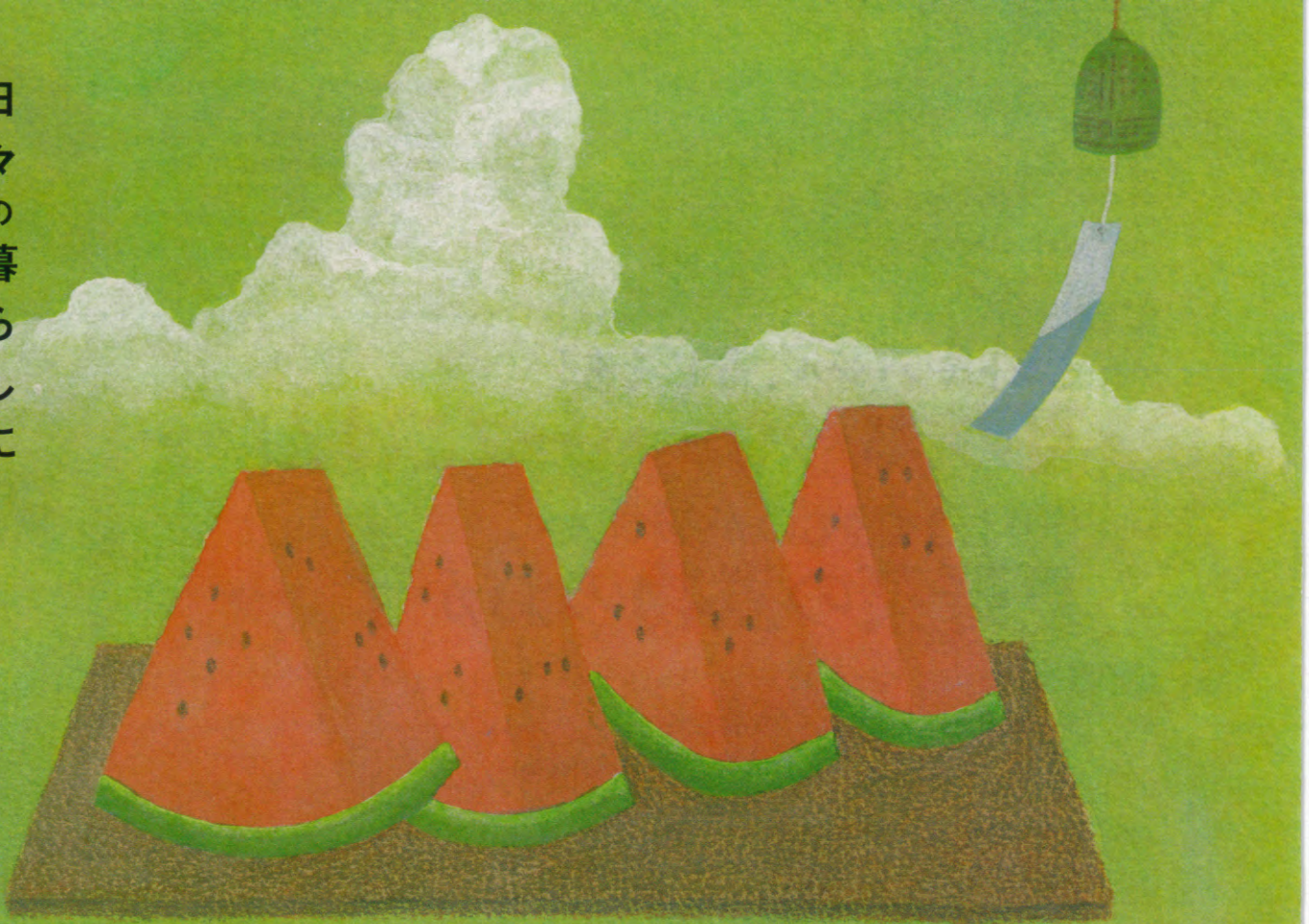


# 日々の暮らしに

香川芳子 女子栄養大学学長



私は80歳を過ぎた今でも、講義を持ち、毎日、東京・駒込駅から埼玉・若葉駅の片道約1時間、鉄道を乗りかえて行き来しています。何両目に乗れば乗りかえにつごうがよいか、エレベーターやトイレなどの場所も把握しています。初めての所に電車で行くときには、首都圏の路線図を思い描き、首尾よく目的地に到着する経路を考えます。これは楽しいことです。好奇心旺盛というのでしょうか、新しい路線が開通すれば即乗って、駅や乗りかえの経路を確認します。

された埼玉高速鉄道と相互直通運転が開始。初日に北へ向かって一駅一駅、切符を購入しては改札を出て、新しく開けた駅周辺の様子を眺めました。終点が埼玉スタジアムの最寄駅の浦和美園駅です。あれから10数年、駅周辺はにぎやかに変貌をとげたことでしょう。

東京に住んでいても、複雑に発達した路線図を駆使して目的地に向かうのは結構頭を使います。インターネットで調べる方法もありますが、乗りかえを考え、自分の足を使って目的地に行くのは達成感も得られます。自分自身の自由を確保するために、使える体は存分に使って、気ままなひとり暮らしが楽しめるよう努力しています。

新しい路線ができたなら  
即乗ってみます  
好奇心をそそられます